

第1分科会

身構えないで学べる授業環境の構築を目指して

分科会概要：

学生の主体的対話的学習が重視され、グループワークやグループディスカッションを取り入れた授業カリキュラムが組まれている。このような学習の支援は大変難しい。アイスブレイクをしても、学生同士の交流が思うほど深まらず学生同士の作業もうまく進まない。講義等もAIの影響を受ける時代となったが、大学教職員のこういった役割は当面なくなりそうにはない。本分科会では、学生の心理的安全性という視点からのご研究、学生ファシリテーター養成のための取組みについて、最後に学生からアイスブレイクの必要性をそれぞれご教示いただき、身構えないで学べる授業環境をいかに構築するかみなさんと議論したい。

<プログラム>

10:00 趣旨説明

京都先端科学大学 経済経営学部 教授 右近 潤一 氏

10:10 講演1.「主体的・対話的で深い学びの土台となる心理的安全性」

関西大学 教育推進部 副部長 教授 山田 剛史 氏

10:30 講演2.「学生とともに考えつくりだす安心・安全の場 ～学生ファシリテーター養成のための取組について～」

京都産業大学 教育支援研究開発センターF 工房 嘱託職員 大島 和美 氏

10:50 講演3「アイスブレイク集を作成してみよう—学生の立場から」

京都文教大学 学生

稲本 拓真 氏、山脇 莉子 氏、筒井 志俊 氏

11:10 休憩・質問受付

11:20 質疑応答・全体討論